

# 令和5年度 文教厚生委員会 県外視察の概要

## 1 参加委員

元木 章生（委員長）、井村 保裕（副委員長）、大塚 明廣、庄野 昌彦、岸本 淳志、梶原 一哉、達田 良子

## 2 視察日程及び視察箇所

| 視察日程     | 視 察 箇 所                             |
|----------|-------------------------------------|
| 7月19日(水) | 石川県立こころの病院（石川県かほく市）                 |
| 7月20日(木) | 富山市立芝園小・中学校（富山県富山市）                 |
|          | 富山県薬用植物指導センター（富山県中新川郡上市町）           |
|          | 富山県創薬研究開発センター・富山県製剤開発支援センター（富山県射水市） |
| 7月21日(金) | 東京都立荻窪高等学校（東京都江東区）                  |

## 3 調査目的及び視察概要

### (1) 石川県立こころの病院（石川県かほく市）

#### （調査目的）

石川県立こころの病院では、訪問看護師が認知症患者とその家族、かかりつけ医や介護関係者、行政関係者と連携を深めることで、少しでも長く地域で生活するための支援する“高松方式”と呼ばれる取組を全国に先駆けて行っている。

そこで、認知症対策のモデルとなった、当院における“高松方式”の取組等について調査する。

#### （視察概要）

石川県立こころの病院における認知症対策や依存症対策等の取組の説明を受け、院内を視察しました。



### (2) 富山市立芝園小・中学校（富山県富山市）

#### （調査目的）

富山市立芝園小学校・芝園中学校は、児童減少に伴う市内の四つの小学校の統合に合わせて、中学校敷地に小中学校一体型校舎をPFI方式により新築し、ハード面だけでなく、日頃の情報交換や交流を通じて、小学校から中学校への円滑な接続を目指した取組を実施している。

そこで、当校における小中一貫的連携教育の在り方及び学校施設について調査す

る。

(視察概要)

芝園小・中学校における小中一貫的連携教育について説明を受け、授業風景等を視察しました。



(3) 富山県薬用植物指導センター（富山県中新川郡上市町）

(調査目的)

薬用植物指導センターでは、富山産薬用植物の生薬としての品質を再評価し、高品質な品種のブランド化に取り組んでいる。

本県でも薬用植物園で栽培に適した薬草の研究を行っていることから、当センターにおける生薬生産技術の確立等の取組について調査する。

(視察概要)

薬用植物指導センターにおける生薬生産技術の確立等の取組について説明を受けた後、薬草園を視察しました。



(4) 富山県創薬研究開発センター・富山県製剤開発支援センター（富山県射水市）

(調査目的)

当該センターでは、バイオ医薬品を含む高付加価値医薬品の開発支援や品質管理の向上に取り組むとともに、富山県内の産学官連携により設立された「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアムの一員として、県内医薬品産業の振興と人材育成に協力している。

そこで、医薬品産業の振興は重要と考えることから、各センターにおける研究の取組及びコンソーシアムにおける連携等について調査する。

(視察概要)

各センターにおける取組及びくすりのシリコンバレーTOYAMA創造コンソーシアムについて説明を受けた後、施設を視察しました。



#### (5) 東京都立荻窪高等学校（東京都杉並区）

##### (調査目的)

東京都立荻窪高校は、午前・午後・夜間の三部制、単位制、普通科の定時制高校であり、近年、中途退学や不登校の経験者など、様々な入学動機や学習歴を持つ生徒が多くなる中、多様な学習ニーズの受皿としての役割とともに、学び直しの機会の提供など、困難を抱える生徒の自立支援の面でも期待が大きくなっている。

そこで、当校が実施する「誰も置き去りにしない」昼夜間定時制の取組について調査する。

##### (視察概要)

荻窪高等学校における誰も置き去りにしない取組について説明を受けた後、校内を視察しました。

